

今回は、松本藩士出身で松本町町長・市長を連続して長きにわたって務め、市制の礎を築いた小里頼永についてお尋ねしますのでお答え下さい。

1. 次の文は、小里頼永の経歴について述べてある。この中で間違っていて述べてあるものはどれか、一つ選びなさい。

- ① 安政 2年（1855）5月1日、江戸呉服橋内松本藩主の屋敷に生まれる。
- ② 明治 8年（1875）筑摩県師範学校で、6ヶ月の講習を受け、小学校の教員になる。
- ③ 明治21年（1888）長野県会議員になる。
- ④ 明治23年（1890）参議院議員になる。
- ⑤ 明治31年（1898）北海道支庁長（在任3ヶ月）となる。
- ⑥ 昭和16年（1941）7月3日死去。享年87歳。

2. 小里頼永の住まいは、どこの町にあったのか、次の中から一つ選びなさい。

- ① しんまち 新町
- ② たまち 田町
- ③ かたは 片端町
- ④ ふくろ 袋町

3. 小里頼永は、明治35年7月より松本町長となり、その後市制施行とともに市長として連続し、長きにわたって市発展のために尽くした。町長から市長まで連続何年間務めたか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 35年間
- ② 40年間
- ③ 30年間
- ④ 25年間



4. 松本市の首長になってからは、「松本に県庁を」を信念に持ち、市の発展を念頭におき、陣頭指揮のもとで多くの人々に支えられながら力を尽くした。小里頼永の政治生活のバックボーンのひとつとなったのは、次のうちどれか、一つ選びなさい。

- ① 自由民権運動
- ② 合併説
- ③ 分県・移庁論



5. 明治38年（1905）3月、仙台での五十連隊の編制の動きがあり、松本町は積極的に誘致に動き出した。小里頼永は、松本藩士出身の幹部に陳情等をした。その結果、明治40年1月歩兵五十連隊兵営が松本に確定し、翌41年11月3日に入営した。さて、松本藩士出身の幹部とは誰か、次の中から一人選びなさい。

- ① まさたろう 澤柳政太郎
- ② しんじ 辻新次
- ③ こげつ 西郷孤月
- ④ やすまさ 福島安正

6. 大正3年（1914）7月1日、松本市本町（現在の中央郵便局）に日本銀行松本支店が開設された。小里頼永は、積極的に誘致の運動の中心となって尽力した。松本のほかに県内でも誘致運動をしたのはどこか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 上田 ② 諏訪
③ 長野 ④ 飯田

7. 大正4年（1915）高等学校四校建設の政府案が決まり、その誘致をめぐる長野県・新潟県の運動が激しくなった。また、県内では松本・長野・上田の委員が上京して誘致運動を展開した。この状況をみて松本市長小里頼永も上京して、松本藩士出身の文部省関係の人物らと協力して誘致運動を進めた。その結果大正6年（1917）11月、長野・松本の実地見分があり、後松本設置の内示があった。松本藩士出身で誘致運動に協力した人物を、次の中から2人選びなさい。

- ① 辻新次 ② 木下尚江 ③ 川島浪速 ④ 沢柳政太郎

8. 松本市は伝統の「一市一校制」をかたくなに守り続けた。「松本尋常高等小学校」一校しかなく、これが開智・田町・源池・旭町・田川・鎌田・清水に分れ、八校ありながら校長は一人であった。一校制の批判もあり、昭和10年4月1日より多校制になった。何年間一校制が続けられたか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 30年間 ② 43年間
③ 45年間 ④ 50年間

9. 松本市は、10年間ごとに市制〇〇周年記念式典を開いている。10周年記念式典は大正6年（1917）に城山で、20周年記念式典は昭和2年（1927）に松本市営病院の開院祝賀式をあわせて城山で盛大に開いた。30周年記念式典は昭和11年（1936）に開催された。この式典はどこで開いたか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 松本城本丸庭園 ② 城山公園 ③ 深志公園 ④ 松本五十連隊

10. 小里頼永は、明治35年から（1902）松本町長を務め、明治40年市制に移行してからも引き続いて市長を務めた。市制発展の礎（いしづえ）を多くの人たちとともに築いた。そのため松本城本丸庭園に、その功績を讃（たた）えた像ができ、多くの市民の参加のもと昭和8年（1933）5月1日に除幕式が開催された。存命中にこのように造っておく人の像のことを何と呼ぶか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 肖像 ② 塑像 ③ 寿像 ④ ブロンズ像

氏名	採点